

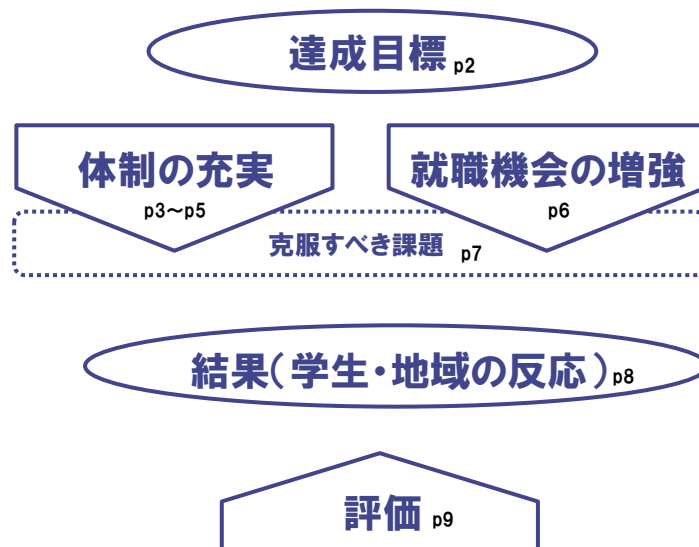
## 就職内定率 100% を目指した相談体制充実と就職機会強化の取組

多摩大学

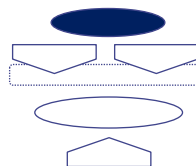
就職委員会 副委員長  
経営情報学部 准教授

浜田 正幸

## 取組の全体像



## 達成目標



### ① 就職相談業務の質の向上

伝統校出身のベテラン就職相談員の就職相談技術を習得し、学生からの相談満足度をアップする。

### ② 就職機会の増強

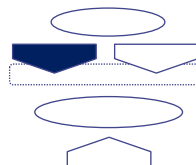
学内合同企業説明会を開催し、学生と企業との接点を増加させ、その場で全学挙げて支援を強化する。

### ③ 就職内定率 100%



2

## 体制の充実



就職希望者数

263名

就職相談員

6名

従来

+

2名

今回

≡

33名



3

## 体制の充実

就職希望者数  
263名

就職相談員  
6名 従来 + 2名 今回

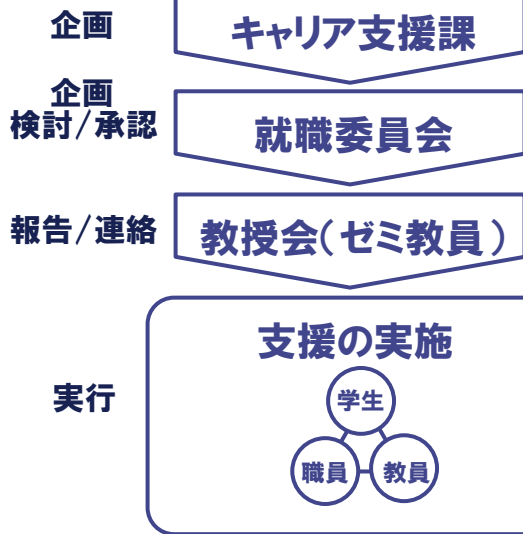
豊富な経験と知識  
指導の高度な技術  
地域ハローワークとのつながり  
企業採用担当者とのネットワーク

もと 伝統校で就職相談員  
直近までネットワーク多摩の相談員



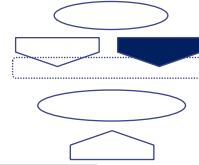
4

## 体制の充実



5

## 就職機会の増強



### 学内企業合同説明会



- ① 事前説明会の実施
- ② 密度の濃い面談  
(希望業種の企業を招請)
- ③ 面接コーナーの設置  
(ステップアップを可能とした)
- ④ 学生から面接希望提出
- ⑤ 企業による学生指名
- ⑥ 会場相談ブースの設置

計6回(5回実施済 11/18)

### 学外企業合同説明会 大学として関与

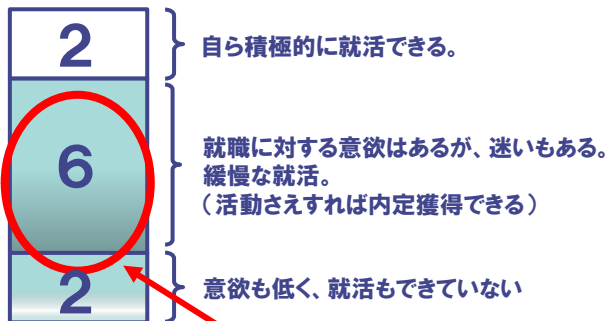
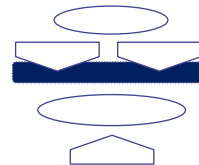
- ① 事前集中個別面談  
就職活動状況・結果の把握  
応募書類のチェック・添削  
模擬面接(ポイント整理)  
就職活動対策の共有
- ② 学内直前講習会
- ③ 説明会への職員派遣  
現場での学生へのアドバイス

計7会場



6

## 克服すべき課題



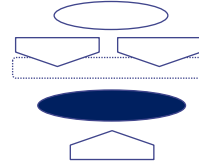
### 今回のターゲット

- ・背中を押してあげる。
- ・水飲み場まで連れて行ってあげる。
- ・手取り足取り指導する。



7

## 結果(学生・地域の反応)



いまだ平成22年度卒業生(4年生)は、  
就活中(プログラム進行中)であるが。

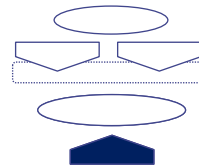
背中を押された学生は、  
内定を獲得している(現在進行形)。

地域の採用担当者からの声は、  
「今後も、よりいっそうつながりを強化したい」



8

## 評価



設定した目標3項目について、次のように達成度を評価する。

① 就職相談業務の質の向上

評価

学生サービス認識度調査  
キャリア支援満足度調査

② 就職機会の増強

評価

合同説明会の実施回数/参加回数/  
参加のべ人数

③ 就職内定率 100%

評価

内定率そのもの



9

## 残されている課題

今回の取組で、就職支援プログラムが增強し、内定率の向上が期待されるが、依然として以下の課題が残されている。

- ① 就職希望であるが、
  - i) 就職意欲/意識が低く、就活しない学生がいる。
  - ii) 途中で意欲が減退し、停滞している学生がいる。
  - iii) 連絡がとれず、支援のしようがない学生がいる。
  
- ② 進路決定を放棄した(のではないかと思われる)学生がいる。

